I-O DATA

B-MANU202202-01

子機増設ガイド

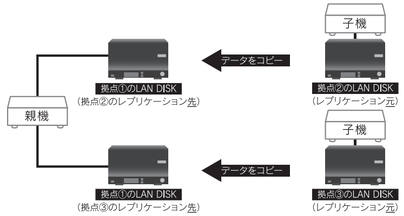
VPN接続BOX
BX-VP1シリーズ

本紙は子機(BX-VP1)を増設する場合にご覧ください

※ 本製品を初期化した場合は、本紙の「1.親機とペアリングします」と「2.ペアリングが完了しているか確認します」を参照し、ペアリングをおこなってください。
また、ペアリング完了後は、別紙「取扱説明書」を参照し、設置し直してください。
※ BX-VP1-Sは出荷時で親機と子機のペアリングが完了しているため、通常、本紙の作業は不要です。

※ 本紙では、接続例2のご利用ケースで説明しています。
すでに拠点①に **レプリケーション先** LAN DISK、拠点②に **レプリケーション元** LAN DISKが設置され、運用されていることを想定しています。

接続例2 他拠点(支社など)のファイルサーバーのレプリカを、拠点①(本社など)に集約させる場合



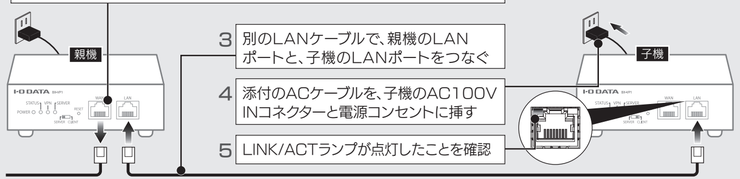
※ 本製品子機の配下に接続できるデバイスは、1台のみです。

1. 親機とペアリングします

1 子機を親機の近くに置く

2 親機からLANケーブルをすべて取り外す（電源は入れたままにします）

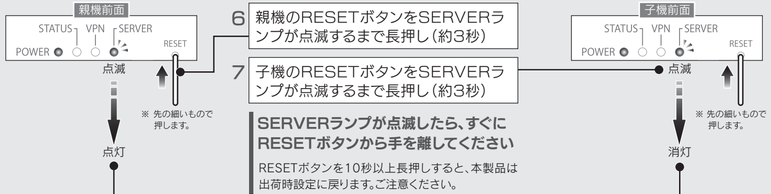
※ 親機1台に対して子機は2台まで接続できます。
※ ペアリング中はパソコン等から親機にVPN接続できません。



3 別のLANケーブルで、親機のLANポートと、子機のLANポートをつなぐ

4 添付のACケーブルを、子機のAC100V INコネクターと電源コンセントに挿す

5 LINK/ACTランプが点灯したことを確認



6 親機のRESETボタンをSERVERランプが点滅するまで長押し(約3秒)

7 子機のRESETボタンをSERVERランプが点滅するまで長押し(約3秒)

SERVERランプが点滅したら、すぐにRESETボタンから手を離してください

RESETボタンを10秒以上長押しすると、本製品は出荷時設定に戻ります。ご注意ください。

8 親機のSERVERランプが点灯したことを確認

9 子機のSERVERランプが消灯したことを確認

10 親機、子機ともにLANポートからLANケーブルを抜く

次に設定画面でペアリングが正常に完了しているかどうかを確認します。

2. ペアリングが完了しているか確認します

親機、子機ともに設定画面を開いて確認します。

1.Magical Finderをダウンロードする

設定画面を開くために設定アプリ「Magical Finder」(無料)をダウンロードし、利用します。
※ インターネット接続環境が必要です。(すでにダウンロード済みの場合は、「2.設定画面を開く」へお進みください。)

1 **▼ Windows の場合**

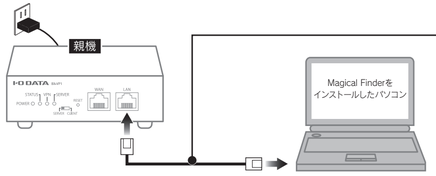
① http://www.iodata.jp/r/3022 にアクセス
② ご利用のOSを選択し、ダウンロードをクリック
③ [実行]をクリック
④ デスクトップ上にダウンロードした[mfinderXXX.exe]ファイルをダブルクリック　※ XXXには数字が入ります。

▼ Mac OS の場合

① http://www.iodata.jp/r/3022 にアクセス
② ご利用のOSを選択し、ダウンロードをクリック
③ Dockの[ダウンロード]→[MagicalFinder_for_Mac_XXX.dmg]ファイルの順にダブルクリック
※ XXXには数字が入ります。

2.設定画面を開く

1



LANケーブルで、親機のLANポートと、パソコンのLANポートをつなぐ

2 デスクトップ上にあるMagical Finderを起動する

▼ Windows の場合

① [mfinderXXX]フォルダを開き、[MagicalFinder.exe]をダブルクリック

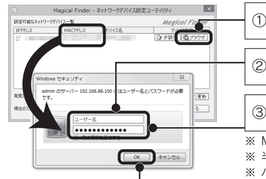
▼ Mac OS の場合

① [MagicalFinder for Mac XXX]→[Magical Finder]の順にダブルクリック
② インターネット上からのダウンロードファイルを開く場合の警告が表示された場合、[開く]をクリック
③ ご利用のパソコンに設定してあるパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリック

Magical Finderで本製品が表示されない場合

ご利用のパソコンのファイアウォール機能、ウィルス対策ソフトを一時的に停止、終了し、再度ご確認ください。
設定完了後は、元に戻してください。

3



① 親機のIPアドレスの ブラウザ (ブラウザ)ボタンをクリック

② [ユーザー名]は空欄のまま

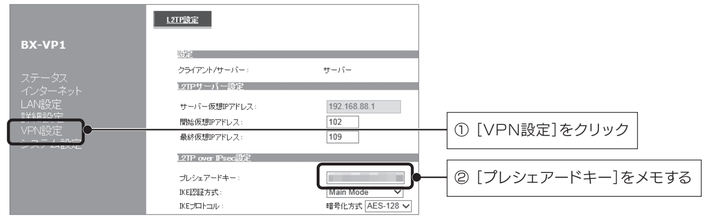
③ [パスワード]に親機のMACアドレスを入力する

※ MACアドレスはMagical Finderの画面、または親機底面に記載しています。
※ 半角大文字の英数字(12桁)を入力します。
※ パスワードは設定画面で変更できます。

④ [OK]をクリック

3.プレシェアードキーを確認する

1



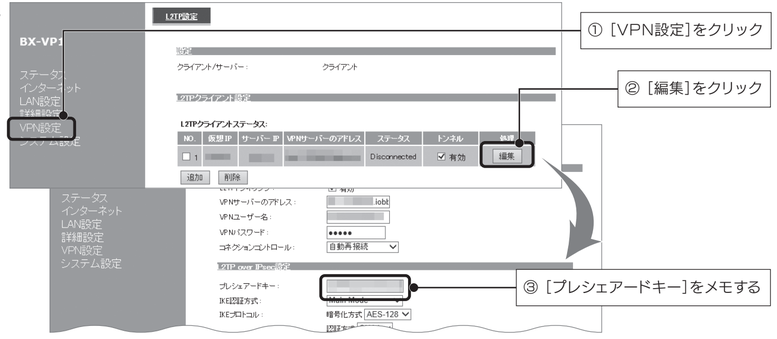
① [VPN設定]をクリック

② [プレシェアードキー]をメモする

2 親機からLANケーブルを外す

3 左記「2.設定画面を開く」の手順を、同様に子機でおこなう

4



① [VPN設定]をクリック

② [編集]をクリック

③ [プレシェアードキー]をメモする

5 親機と子機のプレシェアードキーが同じかどうか確認する
⇒同じであればペアリング完了です。

※ 親機と子機のプレシェアードキーが違う場合、ペアリングに失敗しています。
再度、本紙表面「1.親機とペアリングします」の操作をおこなってください。

6 子機のLANケーブル、電源コンセントを抜く

7 親機を元の状態に戻す(ルーター等とつなぎ直す)

以上でペアリングは完了です。
本紙裏面「3.LAN DISK (レプリケーション先) を増設する」へお進みください。

ご注意：定期的にプレシェアードキーを変更してください

セキュリティ向上の為に、定期的にプレシェアードキーを変更することをお勧めします。(親機と子機ともに同じ内容で変更します。)
変更は設定画面の[VPN設定]画面でおこなえます。詳しくは「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

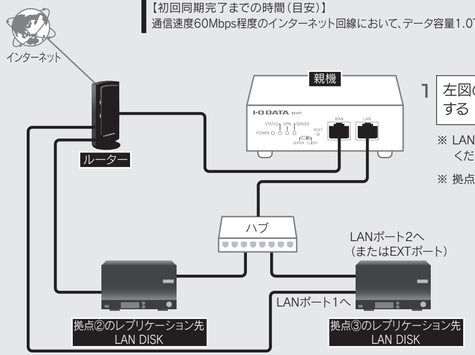
3. 親機にLAN DISK（レプリケーション先）を増設する

拠点①（本社など）

ご注意：初回レプリケーションには時間がかかります

既にデータの入っているLAN DISK（レプリケーション元）のリモートレプリケーションによる共有フォルダーの初回の同期には、時間がかかります。また、ネットワーク環境に負荷がかかるため、通常の業務に支障が出る可能性があります。
業務に支障が少ない時間帯におこなうか、ローカル環境にておこなうことをお勧めします。

【初回同期完了までの時間（目安）】
通信速度60Mbps程度のインターネット回線において、データ容量1.0TBのファイルのレプリケーションをおこなった場合＝約40時間



1 左図のようにハブを介して、LAN DISKを追加接続する

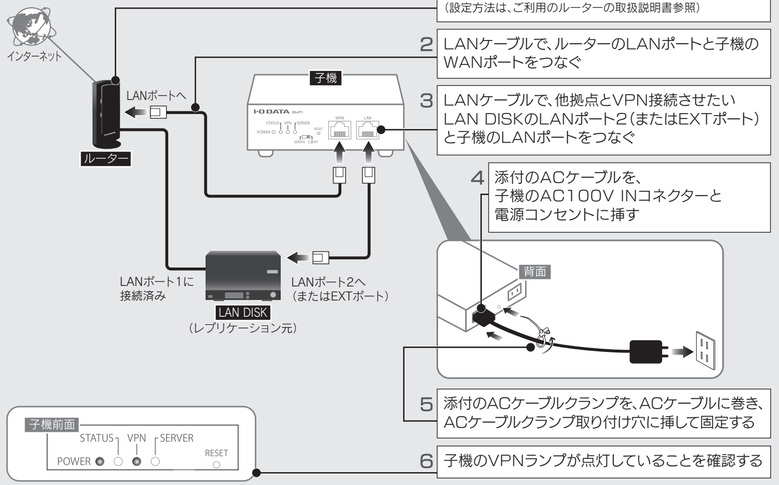
※ LAN DISK（レプリケーション先）のIPアドレスは固定設定にしてください。（設定方法は、ご利用のLAN DISKの取扱説明書参照）

※ 拠点③のレプリケーション先LAN DISKを設置しています。

以上で、LAN DISKの増設は完了です。次に子機を設置します。

4. 拠点③に子機を設置します

拠点③（支社など）



1 ルーターの「IPsecパススルー」を有効にする
（設定方法は、ご利用のルーターの取扱説明書参照）

2 LANケーブルで、ルーターのLANポートと子機のWANポートをつなぐ

3 LANケーブルで、他拠点とVPN接続させたいLAN DISKのLANポート2（またはEXTポート）と子機のLANポートをつなぐ

4 添付のACケーブルを、子機のAC100V INコネクターと電源コンセントに挿す

5 添付のACケーブルクランプを、ACケーブルに巻き、ACケーブルクランプ取り付け穴に挿して固定する

6 子機のVPNランプが点灯していることを確認する

以上で、子機の設置は完了です。
次にLAN DISKの設定をします。

VPN対地数（本製品親機との接続可能数）

本製品子機：2台まで（※）
その他デバイスを含めて同時合計4台まで推奨
（※）本製品子機の配下に接続できるデバイスは、1台のみです。

5. LAN DISKのレプリケーション設定をする

1 LAN DISKのレプリケーション設定をする　※ 設定方法は、ご利用のLAN DISKの取扱説明書参照

※ レプリケーション先の指定はIPアドレスで設定してください。

※ 弊社製「HDL-Zシリーズ」にてDFSレプリケーションをご利用の場合、インターネット越しにアクティブディレクトリに参加する必要があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

※ 拠点①から拠点③のLAN DISKをリモートアクセスで設定する場合、HDL-Zシリーズでは、液晶モニター、キーボード、マウスをHDL-Zシリーズに接続して設定してください。
HDL-Zシリーズ以外では、親機のLANポートにハブをつなげて、LAN DISKとパソコンを接続して設定してください。

※ 子機に接続したLAN DISKのIPアドレスは「192.168.88.110」または「192.168.88.111」になります。既にIPアドレスを固定していた場合は、VPNのセグメントで使用できるように変更してください。

※ 親機に接続したLAN DISKの設定は、拠点①のルーターに接続しているパソコンからおこなえます。

ご注意：初回レプリケーションには時間がかかります

既にデータの入っているLAN DISK（レプリケーション元）のリモートレプリケーションによる共有フォルダーの初回の同期には、時間がかかります。
また、ネットワーク環境に負荷がかかるため、通常の業務に支障が出る可能性があります。
業務に支障が少ない時間帯におこなうか、ローカル環境にておこなうことをお勧めします。

【初回同期完了までの時間（目安）】
通信速度60Mbps程度のインターネット回線において、データ容量1.0TBのファイルのレプリケーションをおこなった場合＝約40時間

以上で、VPN構築は完了です。
リモートレプリケーションやリモートアクセスをご利用ください。